

① はまなか 議会だより

NO 147

令和6年1月15日発行



12月定例会

予 審	算 議	各学校保健室に設置するポータブルクーラーとは	3P~4P
一 質	般 問	4人の議員が町政を問う	6P~9P
		「浜中学」を学んで (松田 未来 さん)	10P
		「鳳舞」 (石原 龍冴 さん)	

表紙の写真

12月22日、霧多布保育所にて毎年恒例のクリスマス会が開催されました。当日は、サンタさんからのプレゼントや写真撮影などを行い、みんなで楽しみました。子どもたちは、サンタさんからのプレゼントを手に笑顔いっぱいの様子でした。

年頭にあたって



浜中町議会議長

落合俊雄

町民の皆様、新年明けましておめでとうございます。輝かしい令和6年の年頭にあたり、謹んで新春のお喜びを申し上げます。

昨年、我が国の経済においては、コロナ禍からの社会経済活動の正常化が進みつつある中、ロシアによるウクライナ侵攻を背景とした国際的な原材料価格の上昇や円安の影響等によるエネルギー・食料価格の高騰、欧米各国の金融引き締めによる世界的な景気後退に加え、イスラエルとハマスの紛争による中東情勢の不安定化など、我が国の経済を取り巻く環境は厳しさが増す状況であります。

日本全体が直面する厳しい実情を踏まれば、政府には国民の命と暮らしを守りつつ、経済成長にも軸足を置き、国民が安心と将来への希望を持つことができるような経済・財政運営に努めていただきたいところです。

本町の基幹産業である酪農業では、生乳取引価格の上昇はあったにも関わらず、生産資材、飼料価格の高騰や個体販売価格が低迷する中、生乳生産量は4月以降、前年実績を下回る状況が続き、加えて昨年の猛暑により、今後の生産においても少なからず影響が懸念されると思います。

大宗漁業である昆布漁は、浜中漁協29日、散布漁協30日の出漁となり、概ね例年どおりの出漁日数となりましたが、時化等により繁茂最盛期の8月に出漁ができず、昆布が流出したことで9月に入って

からの水揚げ量が落ち込んだことから、前年実績を下回ることとなりました。

地球環境の変化、海水温の上昇など自然の恵みを生業とする私たちにとって大変厳しい1年となりましたが、生産者が安定した生産活動が続けられるよう、町行政をはじめ議会、さらには関係機関との連携を図り、支援対策にしっかりと取り組んでまいります。

町議会では、昨年、議員定数を2名削減し、10名にする議会改革を行い、4月の議員選挙において、4人の新議員を迎えました。また、10月には39年ぶりに町長選挙が行われ新しい町長が就任し、町議会とも新体制となりました。

地方自治体を取り巻く環境が、諸情勢の目まぐるしい変化と、解決すべき多くの難題に直面する今こそ、町や議会そして町民の皆様が一丸となって、それぞれが新時代に対応する意識改革を図り、ともにこの難局を打開していく時でもあります。

そのためにも、民意に基礎を置く住民の代表機関として、今後さらなる議会の活性化を図り、町民の皆様の負託に応えるため、議会議員自らが政策立案能力を高め、皆様と問題意識を共有して課題解決に総力を傾け、職責を全うしたいと決意しております。

つきましては、町民皆様からのご理解とご協力を願いつつ、本年が皆様にとって最良の年であることを心からご祈念申し上げます。

浜中町議会

議長 落合俊雄

副議長 成田良雄

議員 川村義春

同 渡部貴士

同 田甫哲朗

同 三上浅雄

同 三膳時子

同 渡邊秀治

同 谷村敦

同 國井葵

補正予算審議から

12月
定例会
7日～8日



購入されるポータブルクーラー

各学校保健室に設置する ポータブルクーラーとは

12月定例会が7日・8日の2日間の日程で開かれ一般会計および各会計の補正と条例改正など9議案が上程され、いずれも原案のとおり可決しました。
一般会計は8971万円を追加し、予算総額97億4590万円となりました。
また、一般質問では、4人の議員が登壇しました。

問 校用備品購入費小学校40万円、中学校28万円、高校10万円で購入するポータブルクーラーの性能と設置時期は。

答 また、各学校とも同じものを購入と思うが単価が違う訳は。

問 性能は8畳から12畳の広さに対応し、冷風での温度は16度まで下げられる。

除湿機能は1日38リットルを除湿する。納入は1月中旬以降で、速やかに各学校に配布し設置していく。
また、本体価格は一台約9万円であるが、学校によって窓の大きさが違うので別売り窓枠パネルを購入する必要があり、各学校の購入額が違う。

パスポートの電子申請とは

問 旅券発行事務機器購入費68万円は、パスポート申請の電子化に係るものであるが詳細は。

答 現在、パスポートの申請は役場窓口で申請書などの書類提出が必要である。申請者の利便性向上と事務の効率化を目的にパスポート申請をスマートフォン（スマホ）でもできるようにするための予算で50%が道の補助である。具体的には、マイナンバーカードの

取得者がスマホでマイナンバーアプリを取得し顔写真などの必要事項を入力することで来庁することなく申請ができる。入力されたデータが今回購入する機器に送られ、町が1次審査をしパスポートセンターで2次審査を行い発行される。パスポートの受け取りには来庁が必要。利用開始は、令和6年度末の予定である。

物価高騰対策支援給付金の内容は

問 住民税非課税世帯等物価高騰対策支援給付金4410万円の内容は。

答 本交付金は、電力・ガス・食料品などの価格高騰による負担増対策として、住民税非課税世帯等に支給する。6月補正にて3万円を給付しており、本補正では追加対策として1世帯あたり7万円を給付する。対象世帯は630件（12月1日現在、非課税世帯628件、家計急変世帯2件）で計4410万円。

財源は、国の補助が3分の2で残りは町が負担する。町広報1月号で周知し、該当者には封書で通知する。

寄付金で購入する 保育所の玩具とは

問 保育所で使用する玩具などを寄付金で購入する予算であるが内訳は。

答 子どものためにとの指定寄付が個人・団体から計50万円寄せられました。児童福祉費寄付金として受け取り、これを財源に

たブロックと加湿器を、茶内保育所では、保育室で使用するブロックセツトを購入。両施設合わせて33万円。

*子育て支援センターでは乳幼児向けのカメをモチーフにしたソフトクッションウォークを17万円で購入し児童の成長に役立つもの。



ソフトクッションウォークで遊ぶ幼児

浄水場薬品費の増額は

問 浄水処理薬品費230万円の補正は単価増または水質悪化によるものか。

答 浄水場では活性炭や次亜塩素酸ナトリウムなどを使い水質の管理をしている。例年、2

4月の融雪期に水質が悪化し両薬品の使用量が増加する。当初予算550万円を見込んでいたが、大雨などによる影響から使用量が増えた。令和6年の融雪期に不足が生じないうよう薬品を購入するもの。今後も、安心安全の飲料水を供給するために水質管理に努めていく。

その他の主な歳出（一般会計）

歳出の内訳	金額
特定防衛施設周辺整備調整交付金基金積立金（一般廃棄物処理事業分）	5251万円
障がい者自立支援医療給付費	437万円
林業専用道開設工事（熊牛北区線）	314万円

議会映像配信



浜中町議会では12月定例会の動画配信を行っています。どなたでもご視聴できますので、上記のQRコードを読み込んでご視聴ください。

決算を認定

9月定例会で設置された決算審査特別委員会（田甫哲朗委員長）は、10月5日に質問事項を抽出し、11月6・7日に各担当課に説明を求め、質疑を行った。審査の結果、各会計決算を認定すべきものと決した。

なお、審査の過程で出された留意点を口頭で報告した。

委員長の口頭報告

①ふるさと納税に関して
寄付件数・寄付額とも増

加傾向にあるものの制度の性質から今後においても右肩上がりでの推移は難しい。この制度の最終目標で

新体制決まる

町長選挙で

齊藤清隆氏が当選

10月8日、町長選挙が告示され、齊藤清隆氏が当選しました。

副町長を選任

10月31日開催の第2回臨時会において、石塚豊氏を適任と認め、選任に同意しました。



副町長
石塚 豊氏



町長
齊藤 清隆氏

ある関係人口・交流人口を増やし、町の活性化に結び付けることが大切である。

②地域おこし協力隊の積極的な活用について
地域おこし協力隊は、単に労働力確保としてではなく、将来的には浜中町民と

なってもらうことを前提に行政業務に特化せず、各団体とも活動内容を協議し協力隊員の増強を図ること。

③再生可能エネルギー導入
実行計画の基本的な考え方について
計画では、目標値の9割強が太陽光発電であるが、

財源・設置場所・耐用年数・電力会社の体制など協議すべきことが多々ある。

温暖化対策は、全世界で取り組む必要がある課題であるが、計画ありきで進めるのではなく、町民が求める施策との優先度を考慮し慎重に取り組むことを望む。

また、計画の公表は、町HPを活用しているが、単に担当課のページに貼り付けるだけでなく、新着情

報として載せるなどHPにアップしたことを知らせ、共創の基本である情報の共有に努めていただきたい。

さらには、今回の再エネ

条例の改正を議決

□浜中町国民健康保険税条例の一部を改正する条例
子育て世帯の負担軽減、

次世代育成などの観点から出産する予定または出産した被保険者に対する国民健康保険税の減額に係る規定を新たに設け、併せて所要

の改正を行うもので単胎妊娠の場合は4カ月分、多胎妊娠の場合は6カ月分を減額する規定を追加する（令和5年11月以降の出産が対象）。施行は令和6年1月1日から。

□浜中町水道事業給水条例の一部を改正する条例
の

□浜中町農業用水道給水条例の一部を改正する条例
例の一部を改正する条例

計画のような長期的・継続的に取り組む事業については、一部の関係者だけではなく行政内部で情報を共有することが必要である。

よび水道使用料を改正し、安心・安全な水道水の供給、両事業の健全経営を図ることを目的として、条例の一部を改正するもの。

水道事業区域は、メーター使用料および水道料金を合わせて平均10%程度の値上げとなる。

農業用水道事業区域は、住居用として新たにメーターを設置し、メーター使用料および水道料金を水道事業区域と統一し、平均16%程度の値上げとなる。

水道事業、農業用水道料金改定は、令和6年5月請求分から適用となり、施行は令和6年4月1日から。

本町の将来を見据え、持続可能な水道事業および農業用水道事業を維持するため、水道メーター使用料お

一般質問

川村 義春 議員



問

所信表明の内容を 齊藤新町長に伺う

答

本町の未来づくりは 5つの重点政策で

川村 5つの重点政策の具体策や戦略を伺う。

〔産業振興で持続するまちづくり〕農水産物のブランド化への具体策は。

また、商工事業者への助成と雇用者への新たな助成の制度設計は。

町長 農水産物のブランド化への一歩は、産地間との差別化を図り、競争力を高めること。水産物は昆布、

アサリ、北寄、マイワシ、花咲ガニを考えているが、農産物は、乳製品などのブランド化が進んでいる。

また、新規の起業者と既存事業者への助成は、喜ばれる制度設計にしたい。雇用者への新たな助成制度は、従業員確保のため、宿舍などを建設する事業者へ費用の一部を助成。現在、細部を検討中である。

川村 〔元気あふれる活気に満ちたまちづくり〕まちの魅力や施策・情報を全国に発信し、知名度を上げると言われるタウンプロモーションの具体的内容は。

町長 町内各団体と協力のもとSNSなど各種媒体の利用と外部企業やメディアを活用したオール浜中での情報発信体制の確立やふるさと納税でのPR、企業版ふるさと納税の実施など。

川村 〔自然と共生するまちづくり〕二酸化炭素排出量ゼロを目指す「ゼロカーボンシティ」を宣言しているが、優先すべきは、豊かな自然環境や景観を次世代に引き継ぐことでは。

町長 町民の財産である自然環境を壊してまで再生可能エネルギーの設置を進めることは論外と思っている。

川村 〔安全安心な生活を守るまちづくり〕巨大地震津波に備え計画されているハード事業を計画期間内に確実に進める決意を伺う。

町長 津波避難対策緊急事業計画に基づき、人工高台1基・4地域に避難タワーを9年度までに実現したい。

川村 〔次代を担う子どもたちのためのまちづくり〕霧多布高等学校の総合学科導入に向け、協議を進めるとあるが、その意図は。

町長 町内酪農家の切実な願いを聞いての政策。地元高校に基幹産業に特化した総合学科があれば産業実習や浜中学で郷土愛を育てることが、後継者対策に繋がるとして、将来的に総合学科の導入を目指す。



10月31日の臨時会で所信表明する新町長

一般質問

三膳 時子 議員



問 「命のボタン」の活用拡大を

答 関係機関と見直しも含め協議をしていく

三膳 「命のボタン」の配布目的と開始年度は。

町長 迅速な医療対応に活かすことを目的に平成22年度より配布。

三膳 当初の配布年齢と現在の配布年齢は。

町長 当初は60歳以上で、平成24年度から65歳に引き上げた。

三膳 当初の配布人数と現在の配布人数は。また、今

後の配布推移は。

町長 平成22年度は60歳以上と障がい者の方などで2170人に配布。今年度は延べ2969人へ配布している。今後の人口構成から令和6年度以降の10年間で、70〜80人くらいで推移する。

三膳 配布後の具体的な活用事例は。

町長 「命のボタン」は基本的に冷蔵庫へ入れておき、救急隊など駆けつけた人に知らせるため冷蔵庫のドアにマグネットシールを貼っておく。救急隊員が駆けつけた際に意識状況が悪く、病歴・かかりつけ機関・処



配布されている「命のボタン」

方箋の情報に活用した例があり、救急搬送において迅速に対応できたと、浜中消防署からの報告があった。

三膳 「命のボタン」をきっかけにアドバンス・ケア・プランニング（ACP）の普及は考えられないか。

町長 「命のボタン」配布が始まり13年で町民に広く浸透していると思われるが、活用の仕方を考える時期でもある。具体的に、終末期医療の話や臓器提供などのことも情報用紙項目に入れ、家族で考えてもらう。本人の意思が分かっていたら、本人の意思に沿った医療選択ができる。今後、医療機関と浜中消防署も含め協議を重ねていく。

※アドバンス・ケア・プランニング（ACP）とは

自ら望む医療やケアについて考え、家族や医療関係者、介護関係者などと話し合い、意思の共有をしておく取り組みのこと。「人生会議」ともいう。

一般質問

渡部 貴士 議員



問 本町の観光資源とは

答 地域住民の魅力もその一つ

渡部 町長は、選挙公約どおりに5つの重点政策を掲げ所信を表明された。産業振興では、新たに起業をする人を対象に助成制度を創設するとあるが、移住者や空き店舗利用者への助成は考えているか。

町長 長期化したコロナ禍の影響で、地域の購買力や域内消費が減少し、町内では商工業が深刻な状況にある。

る。この困難な状況の中でも、新たに町内で起業を希望する人を応援すべく、起業支援制度を考えている。まずは町内での起業者を対象とし、産業団体や関係部署と協議しながら進める。

渡部 地域産業と連携した体験型観光として、昆布干し体験は漁家からの要望も多く、地域への観光貢献度も高いが、受付窓口を設けることはできないか。

町長 観光振興を進めていく中で、豊かな自然環境を



新川地区に新規開店したクレープ店

活かした体験や、特産物を活かした食体験など、本町ならではの魅力ある体験型観光の創出を産業団体や地元事業者たちと作り上げていきたいと考えている。

渡部 本町の観光資源とは何か。

また、1年を通じて本町を訪れてもらう観光振興を目指す上で課題と対策は。

町長 霧多布湿原をはじめとする豊かな自然環境や風光明媚な景観、野生動物などの自然資源と、継承され

てきた産業、それに関わる地域の住民こそが魅力あふれる観光資源であると考えている。

本町を訪れる観光客は季節イベントや日帰り観光が多いが、滞在型観光に向けることで、地域の自然や文化に触れることにより、地域住民と交流する機会が増え、豊かで深い体験を味わうことができる。このことを踏まえ、今後は観光閑散期における冬のアクティビティなど、新たな観光コンテンツの創出に向けて地域の多様な関係者と協議していく。

問 職員のケアと人材育成は

答 課内のコミュニケーション強化で

渡部 若い職員の離職率が高いが、現状把握と対策は。

町長 本町に限った課題ではないと思うが、深刻な問題と受け止めている。管理職には職員の育成と各課内のコミュニケーションを図りながら、組織力の向上を目指すよう呼びかけていきたい。

一般質問

国井 葵 議員



学校および公共施設における 児童生徒の安全対策は

最優先事項とし町民の声を 聴取しながら進めていく

問

答

国井 今夏は鉦根地区でも熱中症警戒アラートが発令され「暑さ対策」は安全管理の一要素となる。今夏の猛暑に対する町内各現場での対策の現状は。

教育長 学校現場には行政より対策強化が通知された。実態として、暑さ指数による屋外活動の中止、扇風機の活用、窓の開閉など。冷却用品の持参も家庭に呼

びかけた。

なお、校長会から次年度以降のエアコン設置要望書が提出された。

保育所では、水分補給を促し、冷風扇の使用や水遊びなどで対策した。

国井 エアコン設置に向けた検討、導入機器、財源は。来夏設置は可能か。

教育長 普通教室は機器・財源などを検討中で来夏には間に合わない。

保健室は、学校保健特別対策事業費補助金（50%）を活用しポータブルクーラーを導入する。1月納品予定で順次学校に配置していく。導入品は全校同様の製品で、除湿機能付き。窓から排熱するため、各学校異なる大きさの窓にも対応できるように別売りの窓枠パネルも購入する。現場の判断で、サーキュレーターなどを併用する。

国井 夏季休業の延長などソフト面の整備と周知は。

教育長 来年は、夏季休業を2日延長し27日間とする予定。学校だよりや防災無線などで周知する。

国井 学校以外の公共施設における冷房設備の現状は。

町長 診療所、高齢者施設などでエアコン未設置の施設があるため関係部署と協議していく。

国井 各学校視察の結果、暑さ以外の観点での安全対策が十分ではない箇所が見受けられた。今後の対策は。

教育長 報告を受けている中で、浜中学校体育館外壁タイルの落下については

新年度に修繕を予定している。今後も安全管理に努めていく。

国井 施設の建設や修繕の際、町民の視点や要望をどのように反映させていくか。

町長 本町は築30年以上経過した施設が全体の3分の2を占めており、財源対策、ランニングコストなど十分協議をする必要がある。町民の意見を伺いながら施設の機能向上に努めたい。



ポータブルクーラーが設置される霧多布小学校保健室

鳳舞

「浜中学」を学んで

霧多布高等学校2年A組

松田 未来みく

霧多布高校では浜中学の中で、色々な活動を行っています。2年生ではデイキャンプと、見学旅行で横浜に行き浜中町を知ってもらったといった活動をしてきました。

まず、デイキャンプでは霧多布湿原センターに行つて、グラタンを作ったり、釣りをしたり、トレッキングをしながら湿原の写真を撮る活動をしました。グラタンづくりでは、それぞれ班の人と協力しながらエビグラタンやポテトグラタンを作りました。浜中町の特産物をふんだんに使ったお

いしいグラタンが作れました。釣りではアメマスやエビをたくさん釣りました。どれも浜中町では有名な湿原の生き物でした。トレッキングでは浜中町の自然を堪能してたくさん写真に残すことができました。デイキャンプの準備でもそれぞれが協力し合ってきたのが最高のデイキャンプになりました。

見学旅行では横浜に行き、横浜橋通商店街でパンフレットを配ったり、クイズをしたりなど横浜の人に浜中町を知ってもらいました。私はパンフレットを配りました。最初はなかなか声をかけられず、パンフレットを配れませんでした。徐々に声をかけられるようになり、たくさんの人にパンフレットを受け取ってもらうことができました。たくさんの人と話していくうちに元浜中町に住んでいた人に出会ったり、浜中町を知っている人に出会ったりなどたくさんのお会いがあ

り、とても楽しかったです。2年生の浜中学ではたくさんの人と関わり、住み慣れた浜中町をもっと知ることができました。そして3年生では浜中学報告会があります。今まで学んできたことを浜中町の人たちに発表し、改革を行っていきま

す。浜中学は霧多布高校でしか学べません。浜中学を学ぶことによって発信力、課題解決能力、集中力が身に付きます。社会に出たときのために必要となる能力が身に付き、また、浜中町にとって必要なことを知って、浜中町をよりよい街に近づけることができると思います。

揮毫

読み方

意味

1年A組

石原龍牙さん

鳳舞(ほうぶ)

鳳凰が舞う。天

下泰平の象徴。

町のトピックス

浜中ワーケーションステイ

12月5日撮影

町内で職任体験をする「浜中ワーケーションステイ」が12月4日から8日まで4泊5日の日程で行われ、国内外の体験希望者15人が浜中町の自然や食などを楽しみながら就業体験を行いました。写真は「浜中養殖ウニの漁場見学時に撮影したものです。」



この欄に掲載するまちの季節の写真をお寄せください。次回の発行は令和6年4月15日です。

町のトピックス(話題)を募集します!

ご応募はこちらへ 浜中町議会事務局 E-mail: gikai@town.hamanaka.lg.jp TEL: 62-2265